【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式(様式3)】(中学校用)

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	横浜市立仲尾台中学校					
学 年	1年	2年	3年	夜間学級	計	教員数
学級数	4	5	4	1	1 4	2.0
生徒数	1 2 2	1 6 8	1 4 4	7	4 4 1	2 8

研究の概要

1.研究主題

「確かな学力」の向上を目指して

~ 教科の特徴を生かしながら、生徒一人ひとりの学力向上を図る、個に応じた中学校教科指導の在り方~

2.研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年 < 9 教科 >

- ・各教科の担う生徒の「学力」の明確化
- ・「学力向上」の判断材料例と「基礎・基本」の明確化 個に応じた指導の充実により、総合的に学力の向上を図るため

全学年 < 数学科 > 、2、3年生 < 英語科 > 、3年生 < 理科 >

・習熟度別学習の効果的な活用 生徒の習熟の程度に応じた指導が効果的な教科・学年であるため

(2) 年次ごとの計画

テーマ 平 「確かな学力の向上を目指して」 成 研究の見通し(仮説)

14 習熟度別に少人数で授業を行うことで、基礎的・基本的な学習内容の確 年 実な定着を図ることができる。

度研究の内容・方法

平成14年度の習熟度別授業の成果の検証

主に習熟度別授業(理科・数学・英語)の効果的展開の研究

子ども・保護者に開かれた評価の在り方の研究

生徒一人ひとりの学力の向上には、全教科が共通のめあて(学校教育目標をもとに教科で設定した生徒の姿の実現)をもって、それぞれの特徴を生かしながら取り組むことが効果的である。

研究の内容・方法

平成15年度に明確化した「学力向上の具体例」の具現化を意識した指導の実践・検証

(3) 研究推進体制

度

教育課程特別委員会内に「フロンティア事業」担当部門をおき、教育課程全体との関連性をもたせながら研究を推進している。

(4) 研究日程

月	実 践 研 究 の 内 容
4	研究推進組織の編成 ・本年度研究方針(内容・方法など)の検討
5	習熟度別授業・選択授業の開設(体制整備・生徒と保護者への案内) ・教育課程・評価・習熟度別授業についての保護者説明会 ・1学期「学びの内容と評価のめやす」冊子配付 横浜地区学力向上推進連絡協議会
6	各教科ごとの研究会
7	教科内授業研修
	・習熟度別授業実施教科会
	・1 学期の研究のまとめ
	・生徒へのアンケート調査実施
	横浜地区学力向上推進連絡協議会
8	学習相談実施

	校内研修会
	・個に応じた指導と評価について
	・2 学期の研究計画と評価計画作成
	・公開授業研究会について
9	学習相談実施
10	2 学期「学びの内容と評価のめやす」冊子配付
	・各教科ごとの研究会(公開授業研究に向けて)
11	横浜地区学力向上推進連絡協議会
	教科内授業研修
12	習熟度別授業実施教科会
	・2 学期の研究のまとめ
	・校内研修会
	・個に応じた指導と評価について
	・3 学期の研究計画と評価計画作成
1	3 学期「学びの内容と評価のめやす」冊子配付
	公開授業研究会(1月30日)
2	横浜地区学力向上推進連絡協議会
	基礎学力の検証
	・習熟度別授業実施教科会
	・習熟度別授業についての生徒アンケート
	・本年度のまとめ
	・個に応じた指導と評価について
3	基礎学力の検証
	校内研修会
	・新学期の研究計画と評価計画作成
	・1年間のまとめと次年度計画
i)	

平成15年度実践研究の内容

研究テーマ・研究体制設定の工夫等「確かな学力の向上を目指して」

研究の具体的内容

平成14年度及び平成15年度の習熟度別授業の成果の検証 「学力」「学力向上」「個に応じた指導」など、教科の担う役割の明確化 子ども・保護者に開かれた評価の在り方の研究

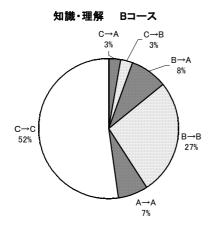
平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1.研究の成果

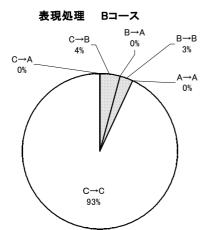
教師 教科の学習内容・方法について共通理解が図れつつある。 生徒 授業が楽しくなった、分かるようになったという生徒が増えた。 生徒意識調査や生徒一人ひとりの学力の向上から、個に応じた教科指導の在り方について常に検証し、日々の授業改善を行った。

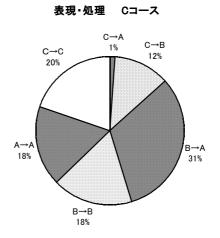
ここに、その一例である、数学科第2学年、英語科第2学年、英語科第3学年の生徒の変容、学力向上の具体例を載せる(Bコースは、Basic コース、Cコースは、Challenge コース)。数学科第2学年

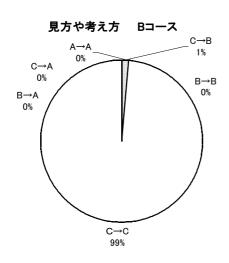
「知的な変容」…第2学年 横浜市中学校診断テスト(平成14年度 平成15年度)

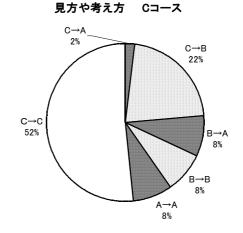


知識・理解 Cコース
C→A 2% 1% B→A 6%
11% B→B 3%







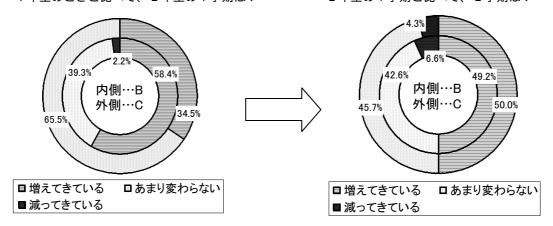


英語科第2学年 アンケート

(1)英語が「分かる・できる・伸びている」という実態

1年生のときと比べて、2年生の1学期は?

2年生の1学期と比べて、2学期は?

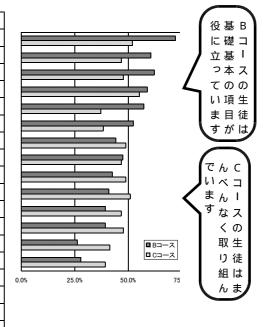


(2) 2 学期に「増えてきている」と答えた人は、その根拠は何ですか? (複数回答可)

	全体	B⊐ - ス	C⊐−ス
先生の言っていることが前より分かるようごなった	33.5%	34.3%	32.1%
以前は読めなかった英文が読めるようごなった	27.7%	31.3%	21.4%
以前より発音の仕方が分かるようづかった	27.7%	25.3%	32.1%
自分のことが英語で少しだけ書けるようごなった	27.1%	32.3%	17.9%
単語が以前より書けるようけった	26.5%	29.3%	21.4%
以前より分かるところと分からないところがはっきりしてきた	24.5%	28.3%	17.9%
過去形の作り方など、英語の決まり事(文法)が分かるようづなった	23.9%	24.2%	23.2%
単語の意味がよく分かるようになった(言語・文化)	23.2%	26.3%	17.9%
英語の授業に積極的に取り組めるようになった	23.2%	27.3%	16.1%
教科書の大事な文章が自分で書けるようけった	14.8%	13.1%	17.9%
自分のことをまとまった英文を使って書けるようにさった	12.9%	10.1%	17.9%
テストの点数が伸びてきている	12.9%	12.1%	14.3%
その他	2.6%	1.0%	5.4%

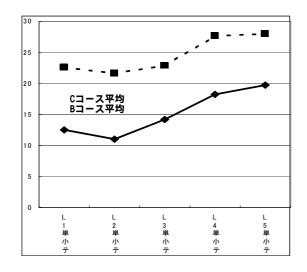
(3) 英語の学習活動の中で、好きな(ためになっている)活動はなんですか?(複数回答可)

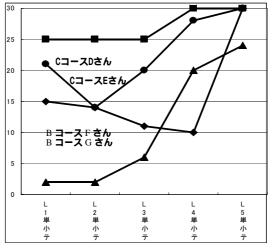
		全体	B ⊐ ース	Cコ ー ス
基	単語を読む練習	60.0%	72.1%	52.1%
	単語を書く練習	52.3%	60.7%	46.8%
	教科書を読む練習	53.5%	62.3%	47.9%
	教科書の音読(自主課題)	56.8%	59.0%	55.3%
基本	教科書の内容のプリント	45.2%	57.4%	37.2%
	英語の学習	43.9%	52.5%	38.3%
	文法の説明プリント	47.1%	44.3%	48.9%
	文法の問題練習	47.1%	47.5%	46.8%
	コミュニケーション活動	46.5%	42.6%	48.9%
	スピーチ	47.1%	41.0%	51.1%
	ペアの会話練習	43.9%	39.3%	46.8%
発	AETとの会話	44.5%	39.3%	47.9%
展応っ	スキット	35.5%	26.2%	41.5%
用	英作文	34.8%	27.9%	39.4%
V	授業の最初の歌	56.8%	54.1%	58.5%
	リスニングクイズ	65.8%	60.7%	69.1%
	ノートまとめ	23.9%	26.2%	22.3%
	英語日記	23.9%	9.8%	33.0%



英語科第3学年 【生徒の変容、学力向上の具体例】

- 【1】Lesson1~Lesson5の英単語テストの 各コースの点数推移(平均点)
- 【2】CコースのDさんとEさん、Bコースの FさんGさんの英単語テストの点数推移





2.今後の課題

- * 平成15年度に明確化した「学力向上の具体例」の具現化を意識した指導の 実践・検証
- * 総合的な学習の時間との関連付け
- * 生徒・保護者・市民がそれぞれに理解・納得できる「学力」「学力向上」の 定義や意義について明らかにすること

学力等把握のための学校としての取組

- * 情意面の変容…1学期末、学年末の2回の意識アンケート
- * 知的な面の変容…市中学校診断テスト、校内定期テスト、授業中の観察

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

* 中間発表会の開催(平成16年1月30日(金) 本校)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可) 【新規校・継続校】 □15年度からの新規校 □14年度からの継続校 【学校規模】 口 3 学級以下 □ 4 ~ 6 学級 □7~9学級 □ 10~12学級 ☑ 1 3 ~ 1 5 学級 □ 16学級以上 【指導体制】 b 少人数指導 ルT. Tによる指導 □ その他 【研究教科】 ク 国語 口 社会 口数学 口 理科 ゆ 外国語 中 音楽 中美術 中技術・家庭 □ 保健体育 □ その他 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 中有 □無